

株式会社ユビテック
2015年度 第2四半期 決算説明会

[2015年7月1日～2015年12月31日]

代表取締役社長 荒木 克彦

2016年2月19日

本日のアジェンダ

ユビテックについて

2015年度第2四半期決算について

中期経営計画（2015～2017年度）

IoTソリューション事業 事業戦略

ユビテックについて

2015年度第2四半期決算について

中期経営計画（2015～2017年度）

IoTソリューション事業 事業戦略

ユビテックについて

会社概要

設立	1977年11月
上場	東京証券取引所 JASDAQ
資本金	891百万円 (2015年12月末現在)
従業員数	123名[連結] (2015年6月末現在)
本社所在地	東京都品川区
親会社	オリックス株式会社
連結子会社	ユビテックソリューションズ株式会社 UBITEQ SOLUTIONS VIETNAM, LTD.

経営陣

代表取締役社長	荒木 克彦	(株)ユビテックソリューションズ 代表取締役社長
取締役	林 雅弘	オリックス(株) 取締役 兼 専務執行役
取締役	錦織 雄一	オリックス(株) 環境エネルギー本部事業開発部長
取締役	高橋 英丈	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科委員長
社外取締役	徳田 英幸	東京大学大学院教授
社外取締役	江崎 浩	

オリックスグループのIoT技術企業

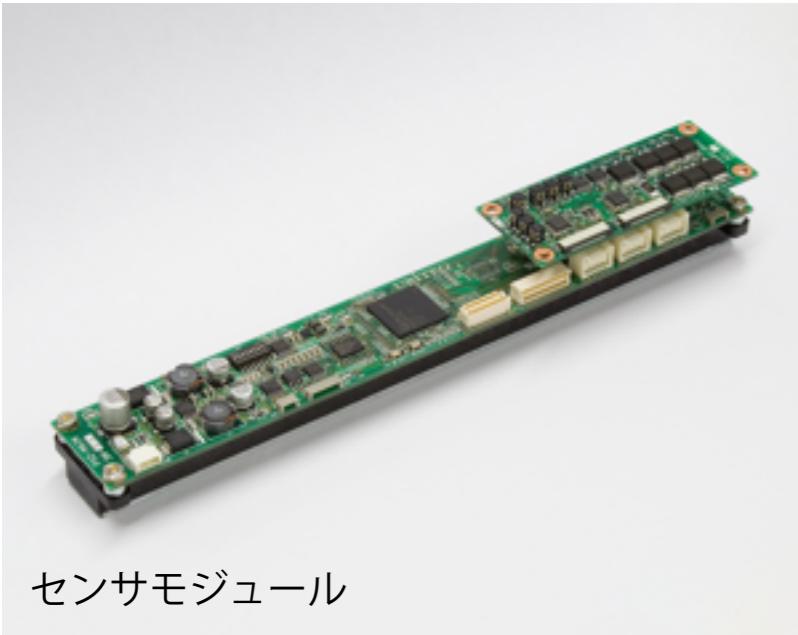
事業セグメント

電子機器事業

モバイル・ユビキタス事業

電子機器事業

電子機器ユニット／製品の設計・製造



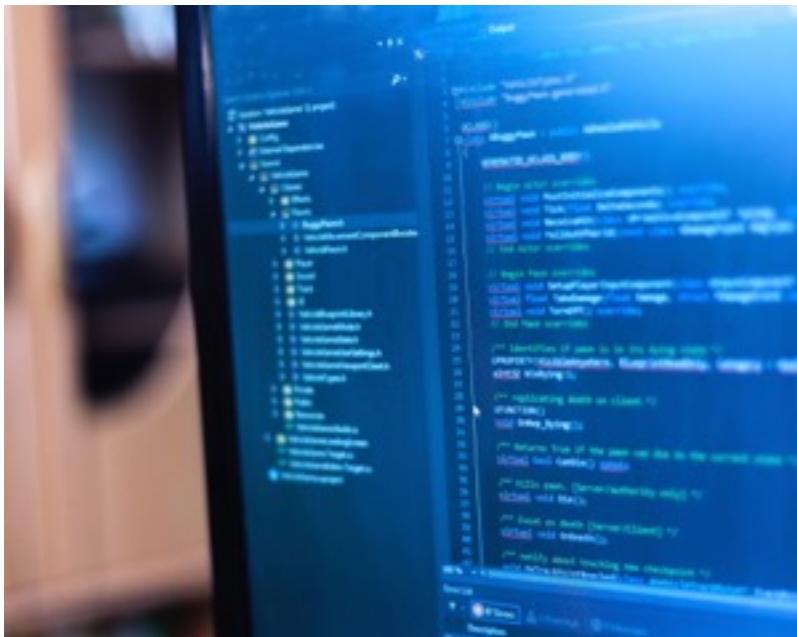
テレマティクスシステム



センシング技術、通信技術を中心とした
電子機器の設計・製造受託を軸に
テレマティクスシステムの開発・運営も展開

モバイル・ユビキタス事業

ソフトウェアの受託開発
人材派遣



省エネソリューションの
開発・販売



ビデオ会議サービスの提供



ソフトウェアの設計・開発受託を中心に、
システムソリューションやクラウドサービスを提供

ユビテックの技術

システム技術

デバイス技術

ユビテックの技術

システム運用技術

システム開発技術

ゲートウェイ技術

センシング技術

量産技術

ユビテックの技術

システム運用技術

システム開発技術

ゲートウェイ技術

センシング技術

量産技術

アミューズメント機器



ユビテックの技術

システム運用技術

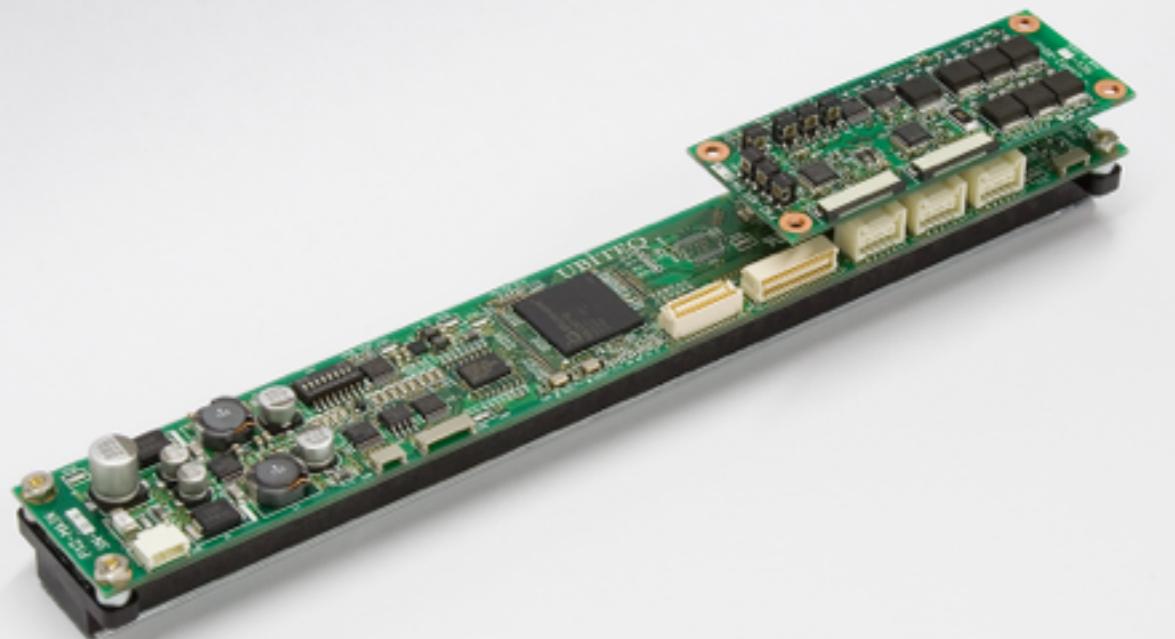
システム開発技術

ゲートウェイ技術

センシング技術

量産技術

センサモジュール



ユビテックの技術

システム運用技術

システム開発技術

ゲートウェイ技術

センシング技術

量産技術

ビデオ会議サービス



ユビテックの技術

システム運用技術

システム開発技術

ゲートウェイ技術

センシング技術

量産技術

省エネソリューション



ユビテックの技術

システム運用技術

システム開発技術

ゲートウェイ技術

センシング技術

量産技術

テレマティクスシステム



ユビテックの技術

システム運用技術

システム開発技術

ゲートウェイ技術

センシング技術

量産技術

ユビキタス技術

テレマティクスシステム

テレマティクスアプリ

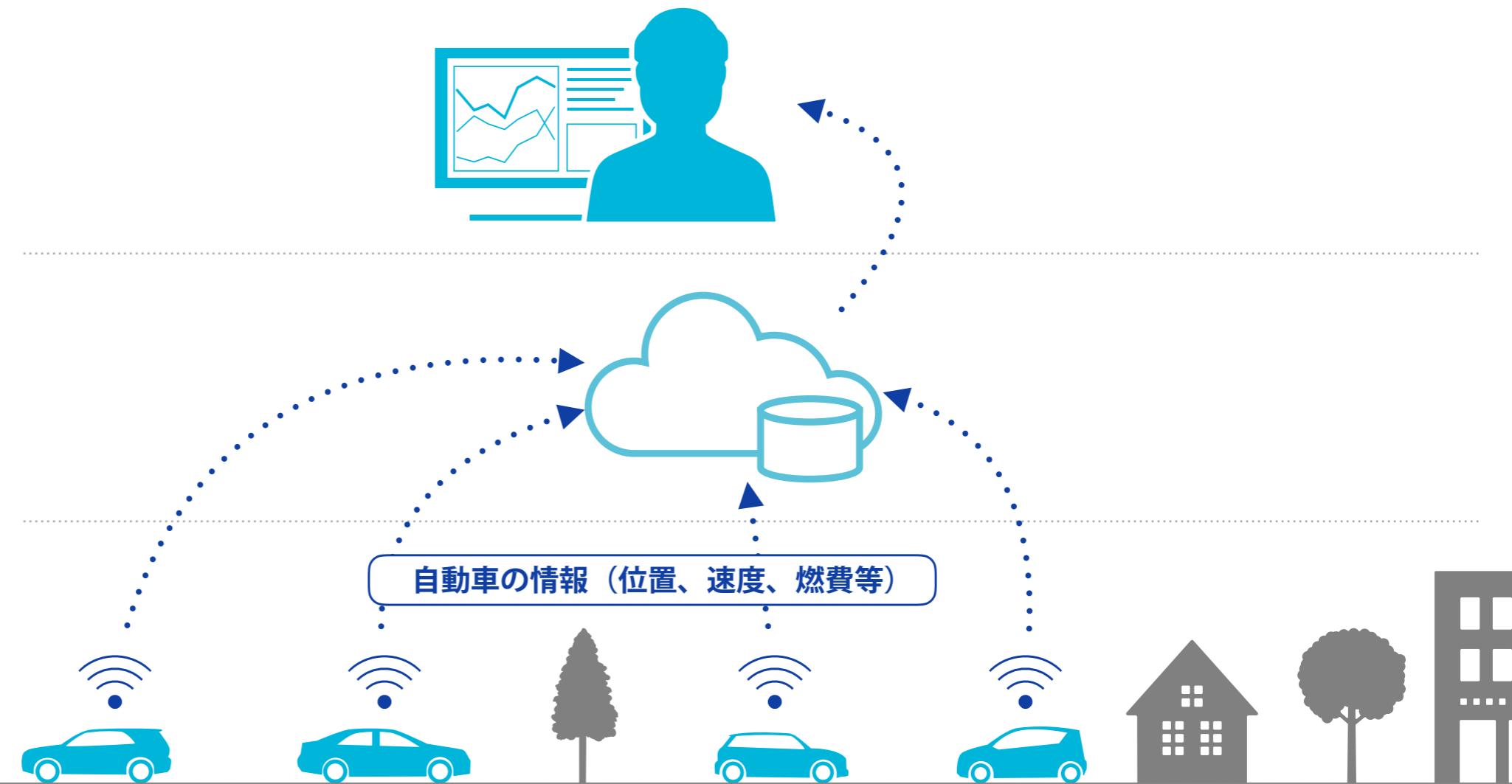
運転日報
ドライバーカルテ
運行状況

テレマティクスサーバ

車載機との通信、
データの蓄積・分析等

テレマティクス車載機

自動車の情報を収集し、
サーバに送信



自動車からの情報を収集・分析するシステム

テレマティクスシステム

テレマティクスアプリ

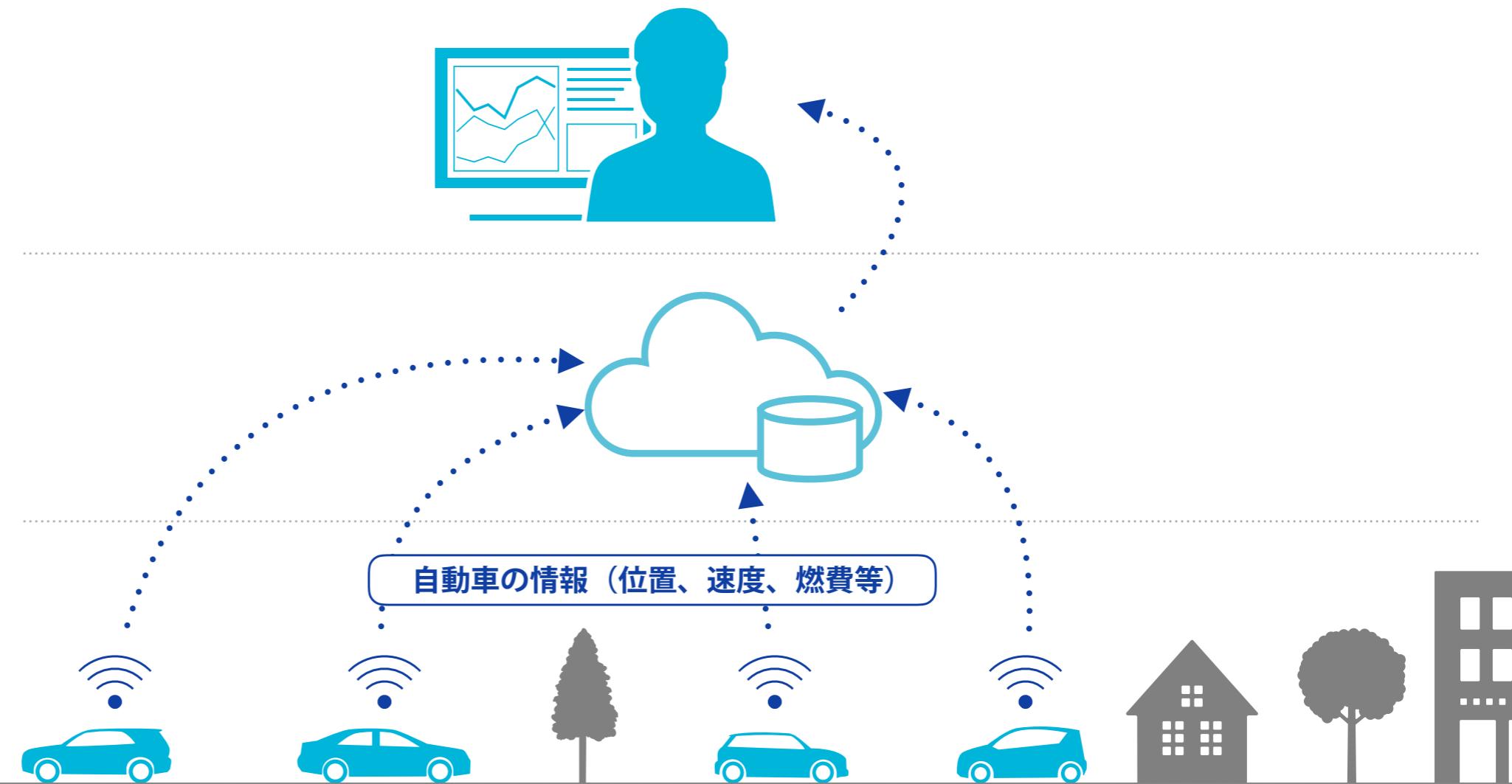
運転日報
ドライバーカルテ
運行状況

テレマティクスサーバ

車載機との通信、
データの蓄積・分析等

テレマティクス車載機

自動車の情報を収集し、
サーバに送信



オリックスグループのIoT事業を
技術面から全面的にサポート

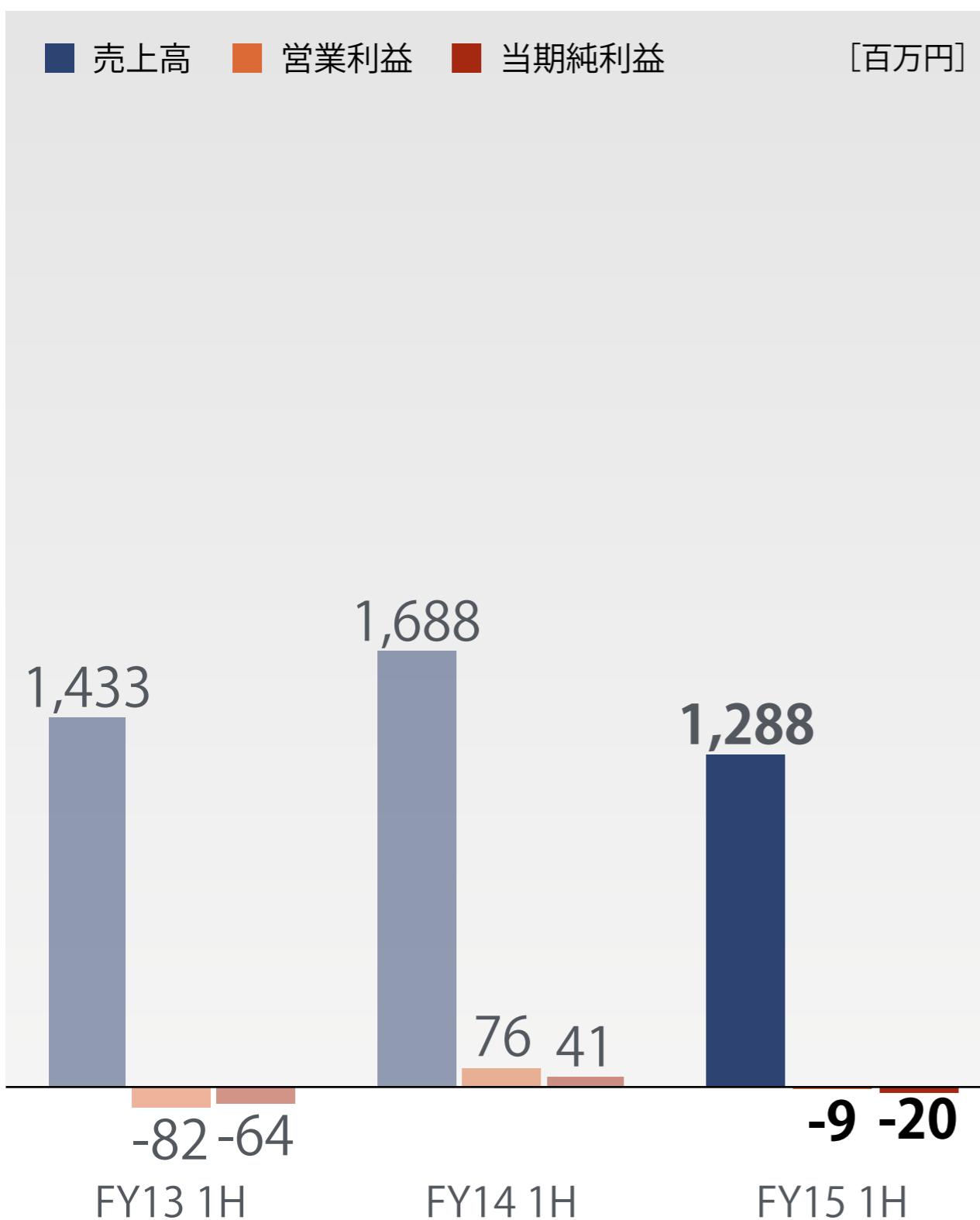
ユビテックについて

2015年度第2四半期決算について

中期経営計画（2015～2017年度）

IoTソリューション事業 事業戦略

連結業績



	FY13 1H	FY14 1H	FY15 1H	前年同期比
売上高	1,433	1,688	1,288	-23.7%
売上総利益	197	291	200	-31.3%
販売費及び一般管理費	279	214	210	-1.9%
営業利益	-82	76	-9	-
経常利益	-86	76	-6	-
当期純利益	-64	41	-20	-

売上高 営業利益

1,288 百万円

前年同期比23.7%減

△ 9 百万円

セグメント別業績

電子機器事業

- ・紙幣鑑別センサモジュールの在庫調整による売上高の減少
- ・テレマティクス車載機の単価下落による利益率の低下

売上高

940 百万円

前年同期比21.2%減

セグメント利益

114 百万円

前年同期比43.8%減

■ 売上高 ■ セグメント利益

[百万円]

1,194

915

95

940

204

114

FY13 1H

FY14 1H

FY15 1H

モバイル・ユビキタス事業

- ・ソフトウェア受託開発の受注減による売上高の減少
- ・省エネソリューションの販売増加による利益率の改善

売上高

347 百万円

前年同期比29.7%減

セグメント利益

7 百万円

前年同期比30.6%増

■ 売上高 ■ セグメント利益

[百万円]

517

493

7

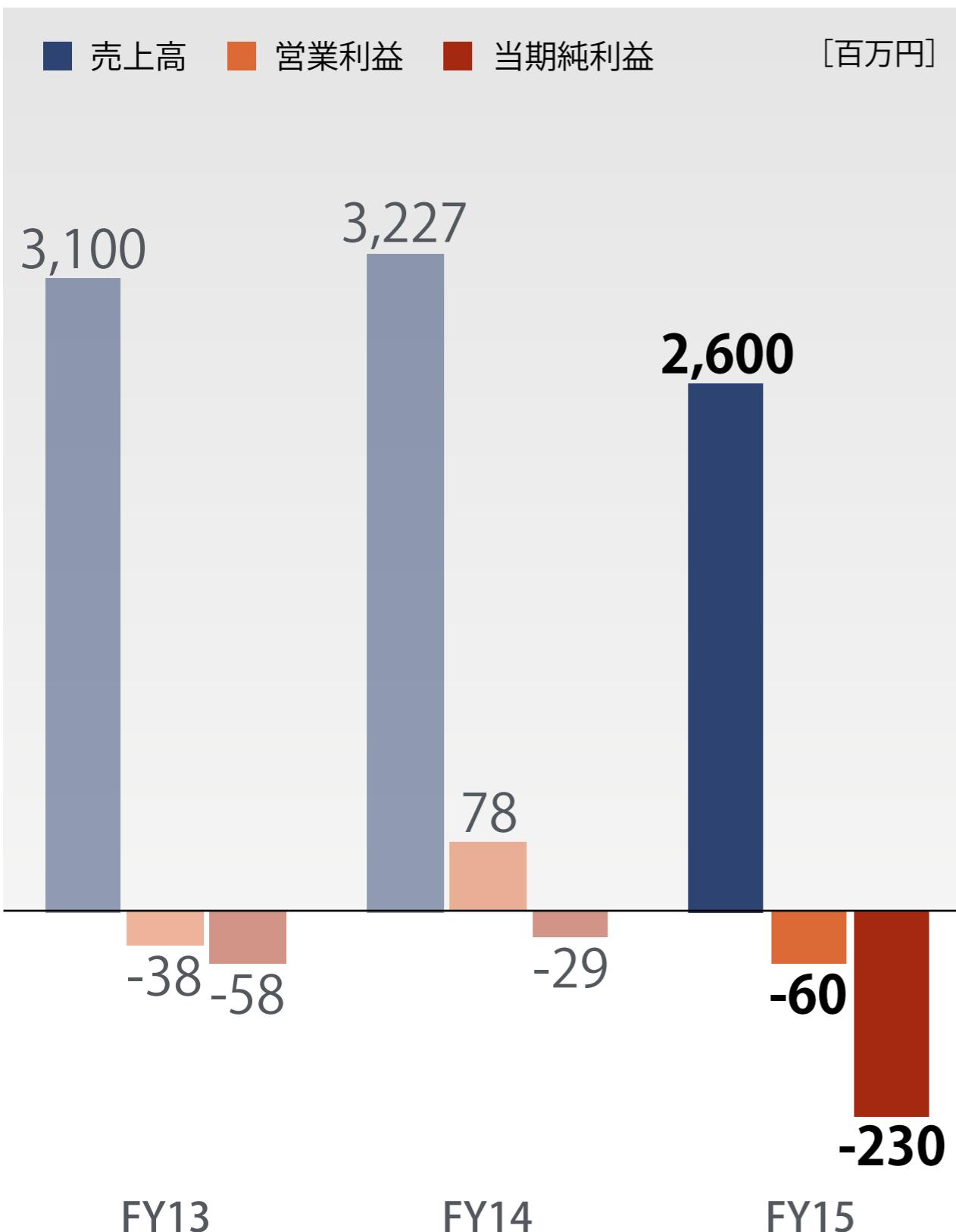
-26

FY13 1H

FY14 1H

FY15 1H

通期連結業績予想



	FY13	FY14	FY15
売上高	3,100	3,227	2,650
営業利益	-38	78	-60
経常利益	-45	78	-60
当期純利益	-58	-29	-230

営業・開発活動強化に伴う販管費増

- ・IoT製品への開発投資
- ・マーケティング活動強化

構造改革に伴う特別損失の計上

- ・事業再編に伴う希望退職
- ・拠点統合等の組織強化策

ユビテックについて

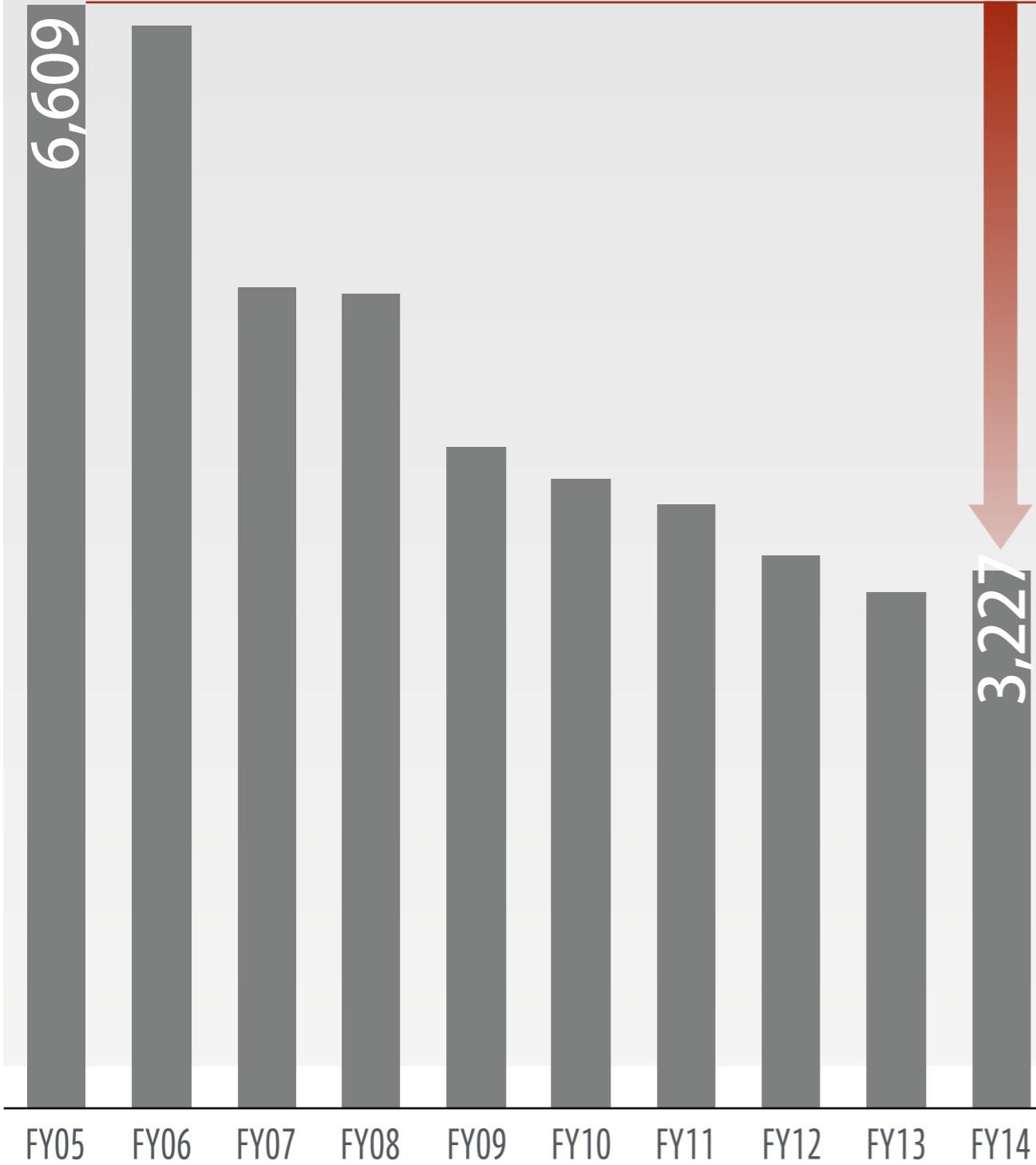
2015年度第2四半期決算について

中期経営計画（2015～2017年度）

IoTソリューション事業 事業戦略

連結売上高推移

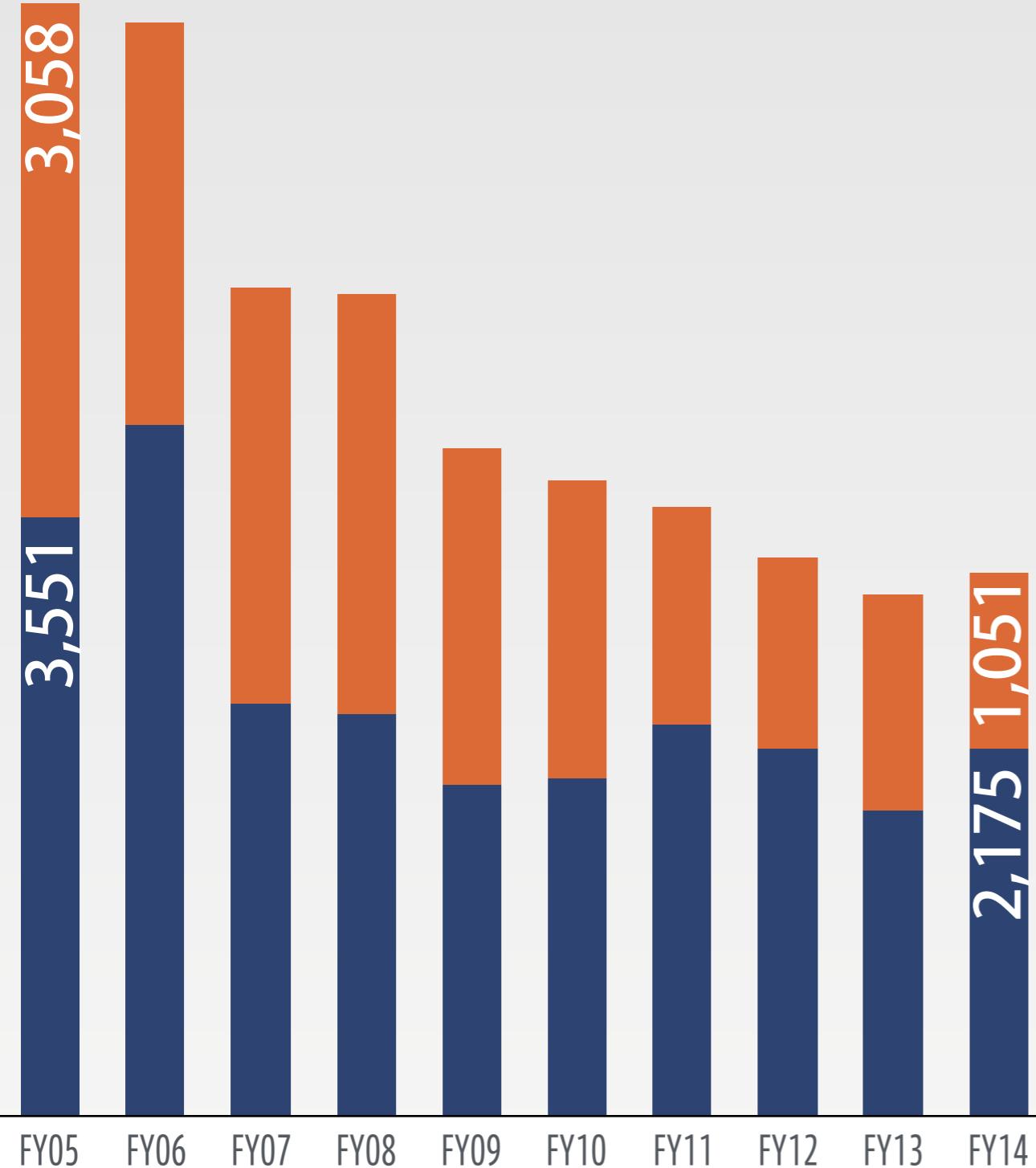
[百万円]



ピーク時から半減

セグメント別売上高推移

[百万円]



電子機器事業

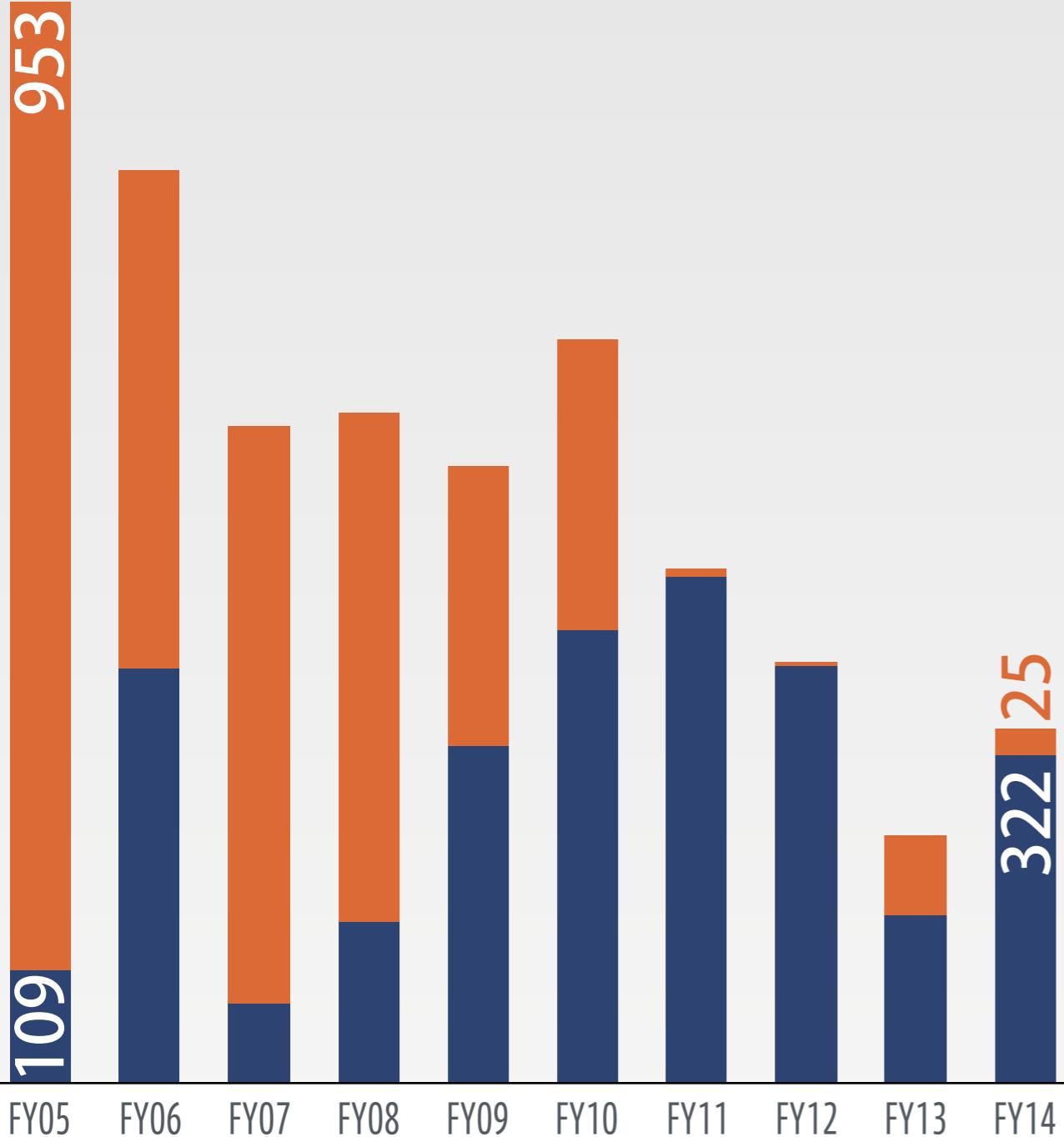
電子機器の設計・製造
テレマティクスサービスの開発・運用

モバイル・ユビキタス事業

携帯電話端末等の機能評価
ソフトウェアの受託開発・人材派遣
IPネットワーク設計・構築運用支援
省エネソリューションの開発・販売
ビデオ会議システムの販売
SNSソリューションの開発
IPv6に関する技術開発

セグメント利益推移

[百万円]



電子機器事業

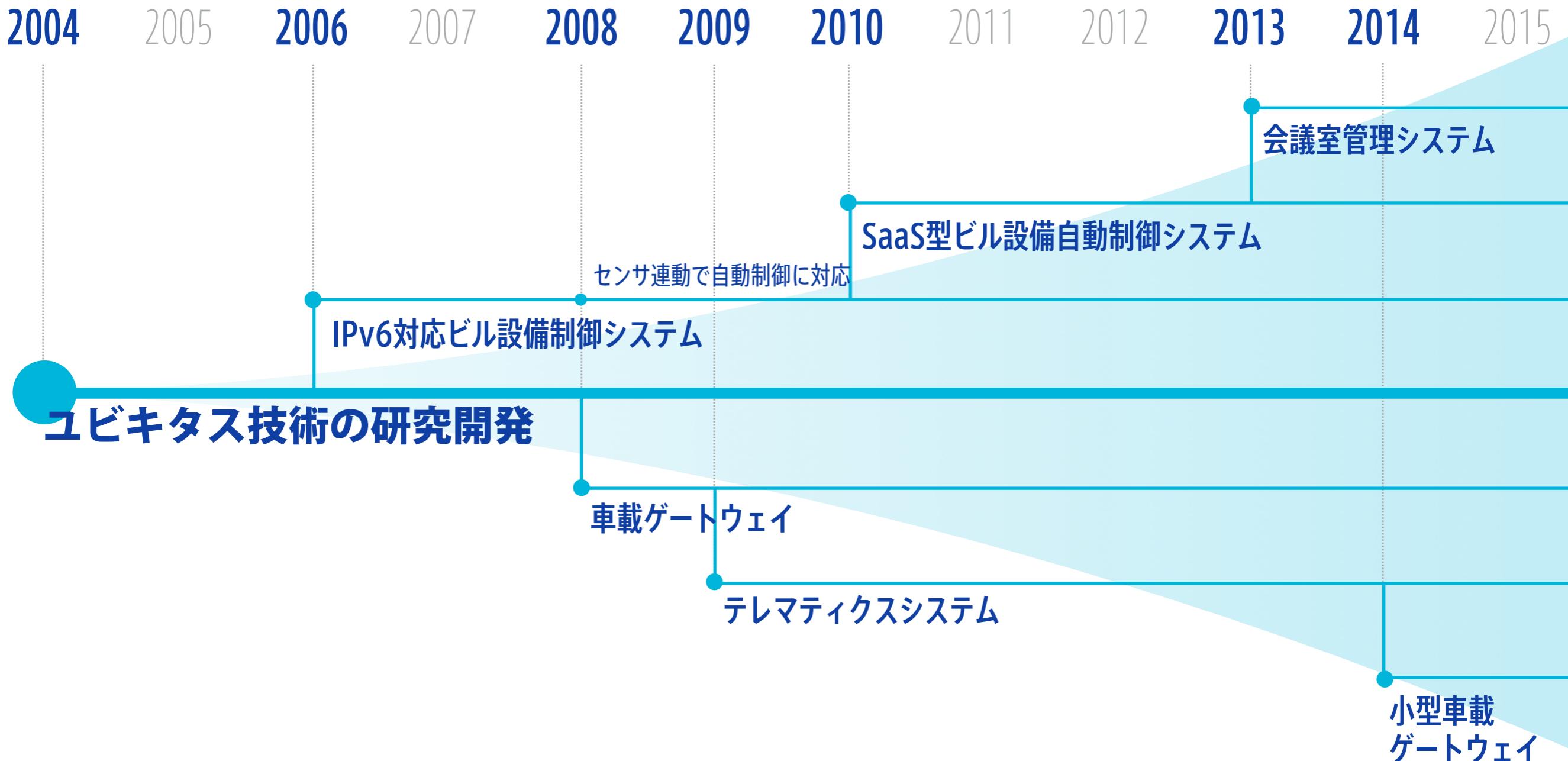
電子機器の設計・製造
テレマティクスサービスの開発・運用

モバイル・ユビキタス事業

携帯電話端末等の機能評価
ソフトウェアの受託開発・人材派遣
IPネットワーク設計・構築運用支援
省エネソリューションの開発・販売
ビデオ会議システムの販売
SNSソリューションの開発
IPv6に関する技術開発

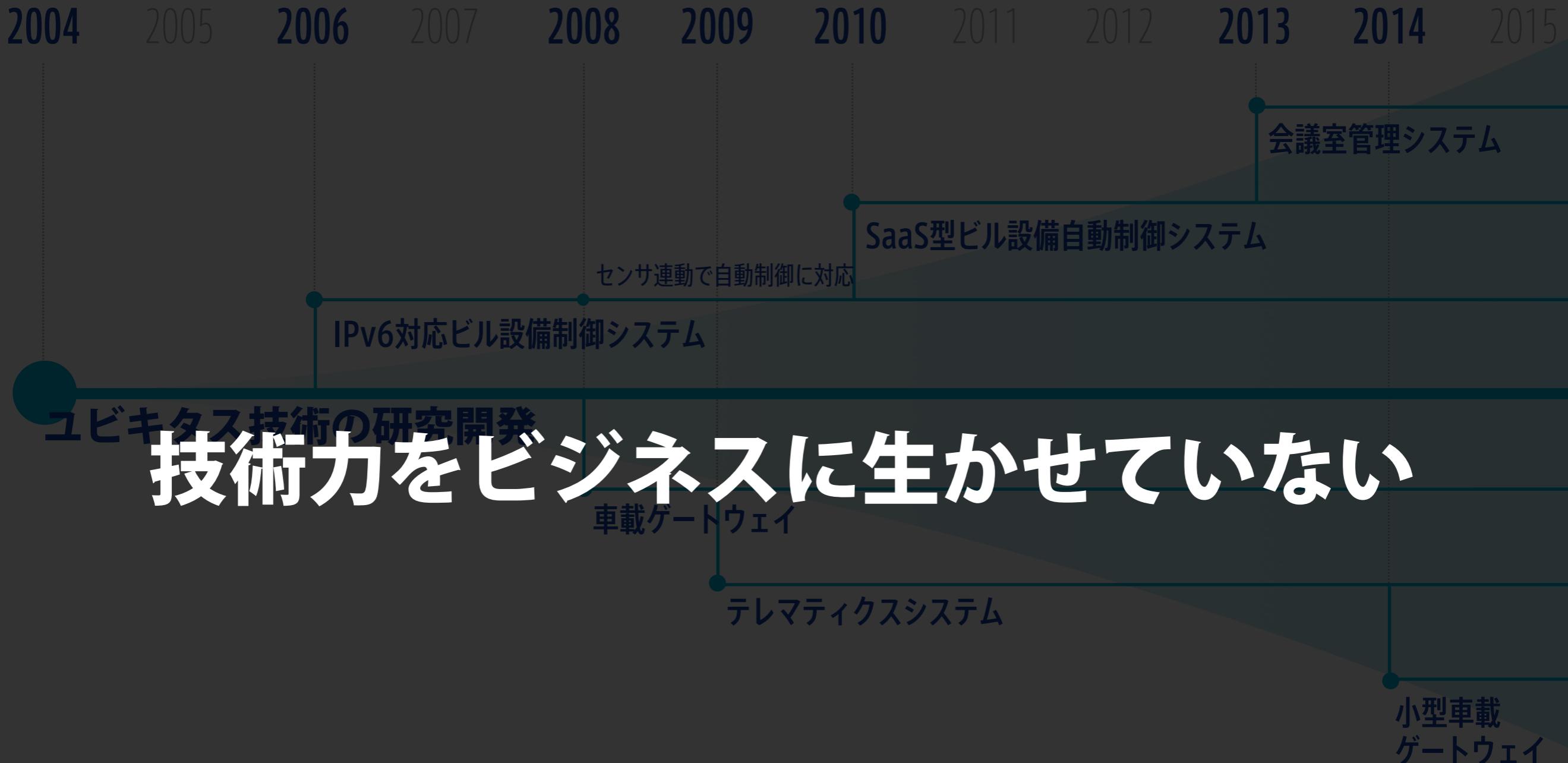
業績不振が著しい

ユビキタス技術の蓄積



10年以上にわたるユビキタス技術の蓄積

ユビキタス技術の蓄積



10年以上にわたるユビキタス技術の蓄積

基本方針

世の中に先駆けて開発したユビキタス技術をもとに、
社会や市場の要請に応えるソリューションを
提供することで企業価値を向上させる



基本戦略

1. 技術を顧客価値につなげる組織づくり
2. 強みを生かせる分野へ経営資源を集中
3. 統制機能と実行力の強化
4. オリックスグループとの連携強化

重点施策

構造改革

事業再編



IoTソリューション事業の垂直立上げ

ユビテックは3年で生まれ変わる

構造改革

組織再編

事業部制から職能別組織へ移行し、
技術を統合した製品開発の実現

人材ポートフォリオの再構築

専門技術者に特化した人員構成を見直し、
営業、マネジメント人材の確保・育成

ガバナンスの強化

指示・命令系統、権限と結果責任の明確化

人事・評価制度の抜本的な改革

等級・報酬制度の見直し
実力にもとづいた人材の登用

**技術を生かした事業運営を可能にする
組織基盤を確立**

事業再編

電子機器事業

電子機器の設計・製造受託

テレマシステムの設計・製造・運用

製造系

モバイル・ユビキタス事業

携帯電話端末評価

省エネソリューション

ビデオ会議ソリューション

IPネットワーク設計・構築運用支援

SNSソリューションの開発

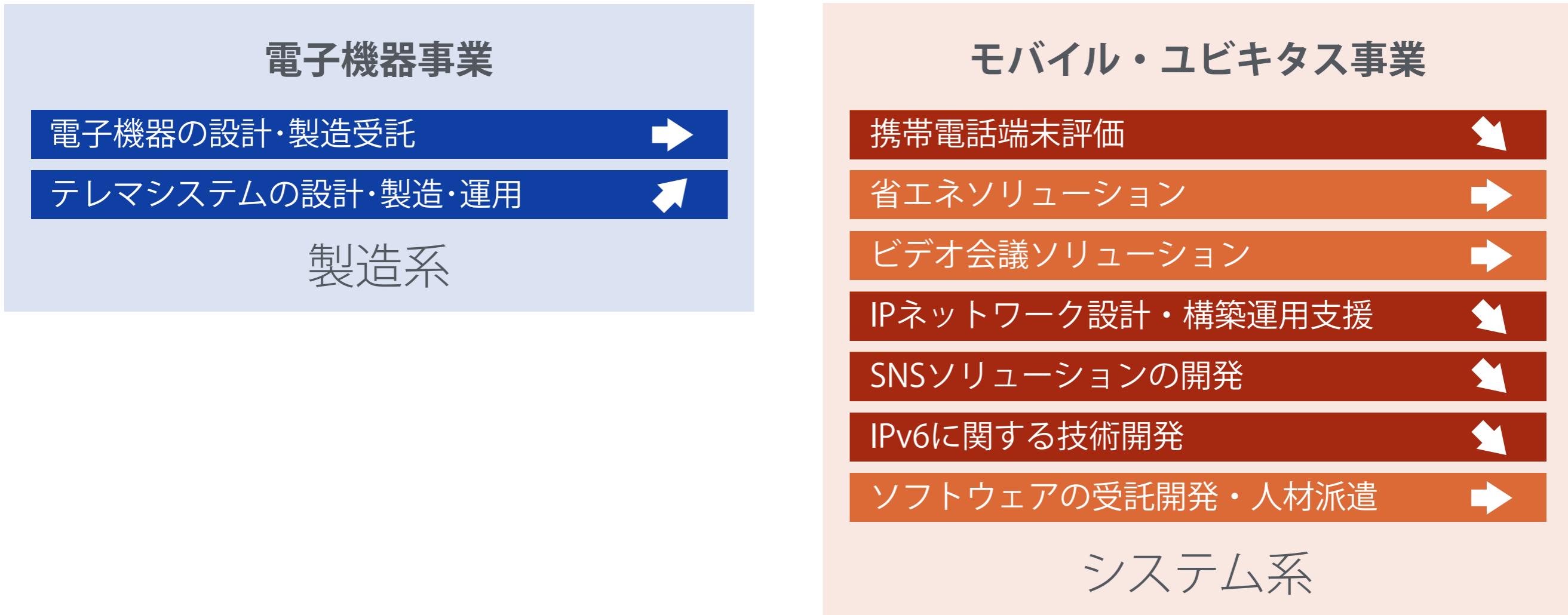
IPv6に関する技術開発

ソフトウェアの受託開発・人材派遣

システム系

従来は製造系とシステム系で
事業セグメントを分類

事業再編



モバイル・ユビキタス事業に
収益性が低下している事業が複数存在

事業再編

電子機器事業

電子機器の設計・製造受託



テレマシステムの設計・製造・運用



製造系

モバイル・ユビキタス事業

携帯電話端末評価



省エネソリューション



ビデオ会議ソリューション



IPネットワーク設計・構築運用支援



SNSソリューションの開発



IPv6に関する技術開発



ソフトウェアの受託開発・人材派遣



システム・ネットワーク系

成長性・収益性が低下した事業を整理し、
コスト構造を改善

事業再編

電子機器事業

電子機器の設計・製造受託



テレマシステムの設計・製造・運用



モバイル・ユビキタス事業

携帯電話端末評価



省エネソリューション



ビデオ会議ソリューション



IPネットワーク設計・構築運用支援



SNSソリューションの開発



IPv6に関する技術開発



ソフトウェアの受託開発・人材派遣



収益性と成長性が高い
テレマティクスサービスを軸に新たな事業を構築

テレマティクスシステム

テレマティクスアプリ

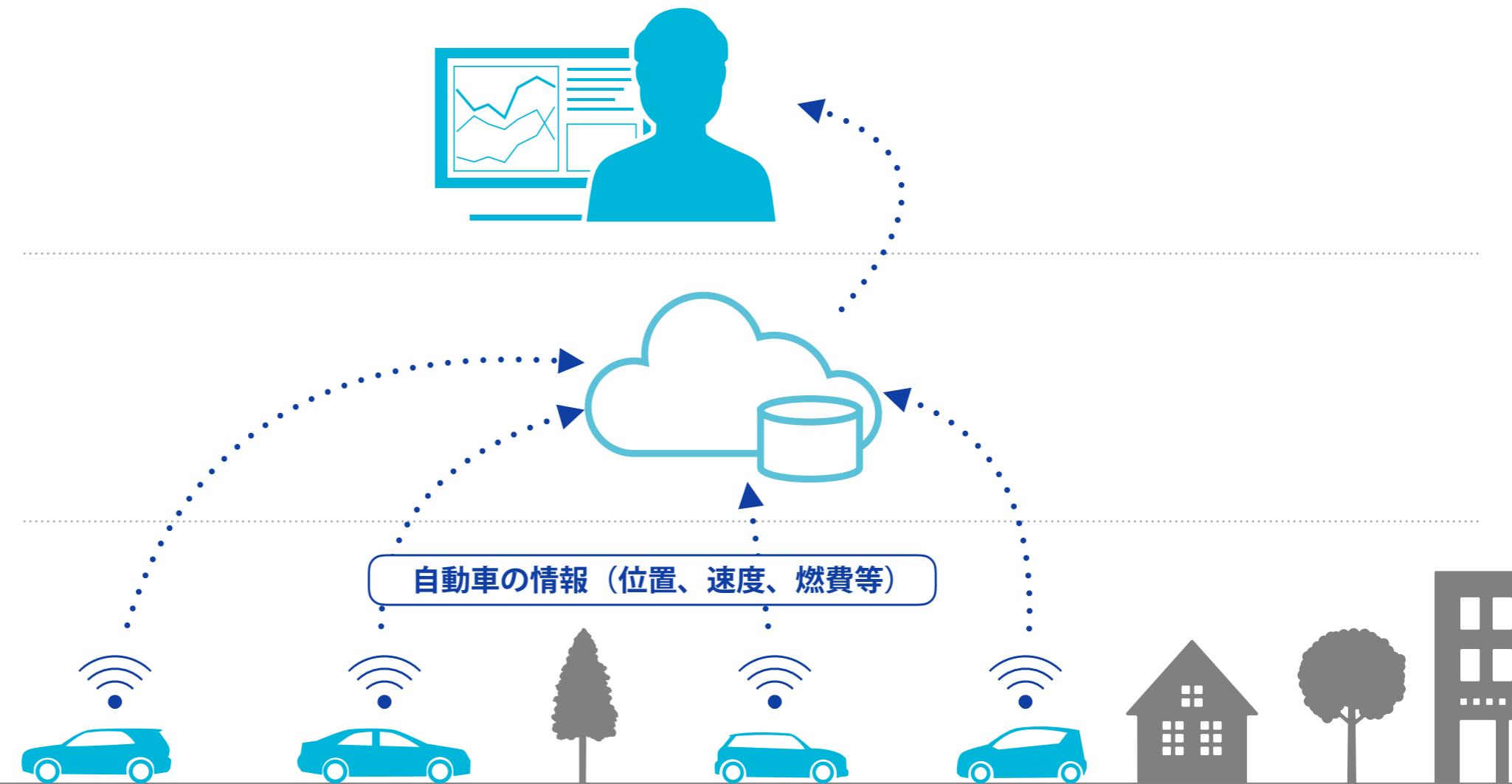
運転日報
ドライバーカルテ
運行状況

テレマティクスサーバ

車載機との通信、
データの蓄積・分析等

テレマティクス車載機

自動車の情報を収集し、
サーバに送信



自動車からの情報を収集・分析するシステム

BEMS/HEMS (省エネソリューション)

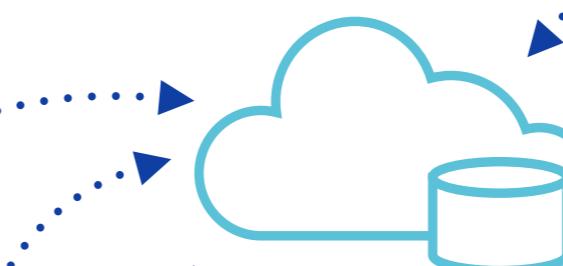
BEMS/HEMSアプリ

設備のモニタリング、
実績レポート、
稼働スケジュール設定等



BEMS/HEMSサーバ

設備ゲートウェイとの通信、
データの蓄積、分析等



設備ゲートウェイ

稼働状況、電力使用量の収集、
設備の制御



照明、空調などの設備を自動制御

IoTソリューション

IoTアプリケーション

ユーザーインターフェイス、
データの可視化、分析等



IoTプラットフォーム

IoTデバイスとの通信、
データの蓄積、分析、API等

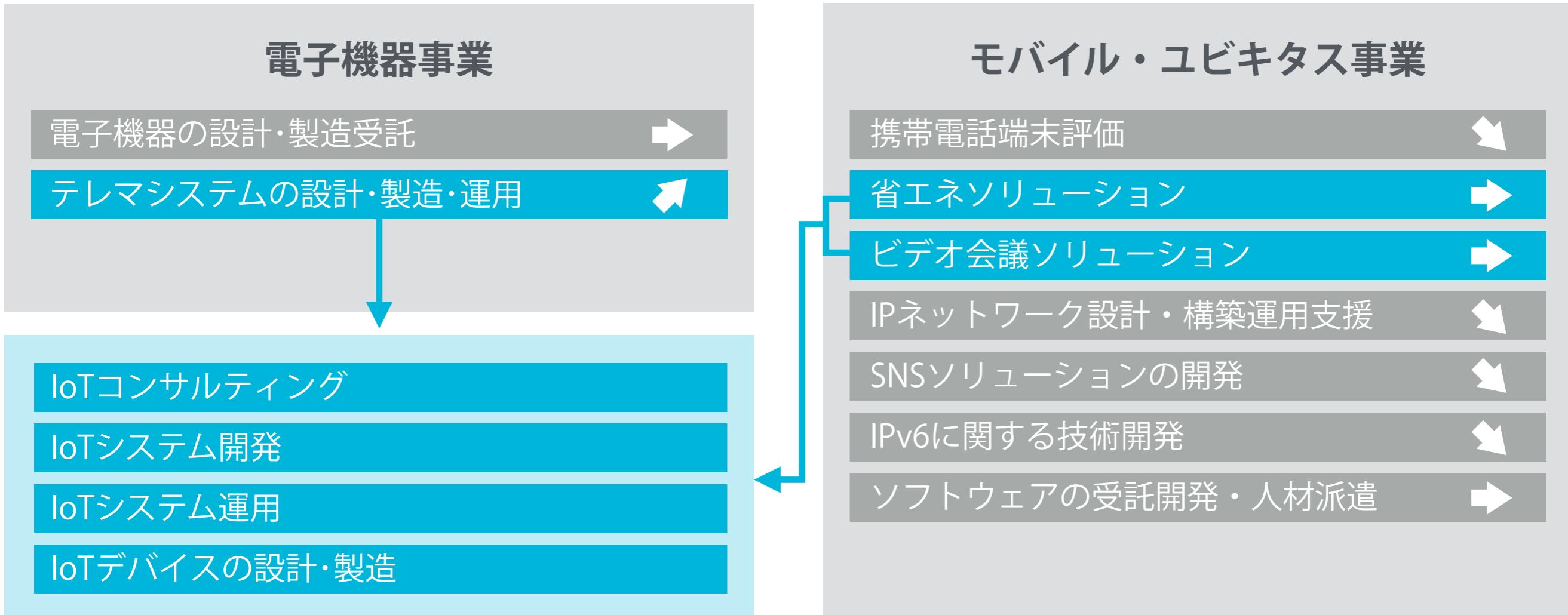
IoTデバイス

ゲートウェイ、センサ等



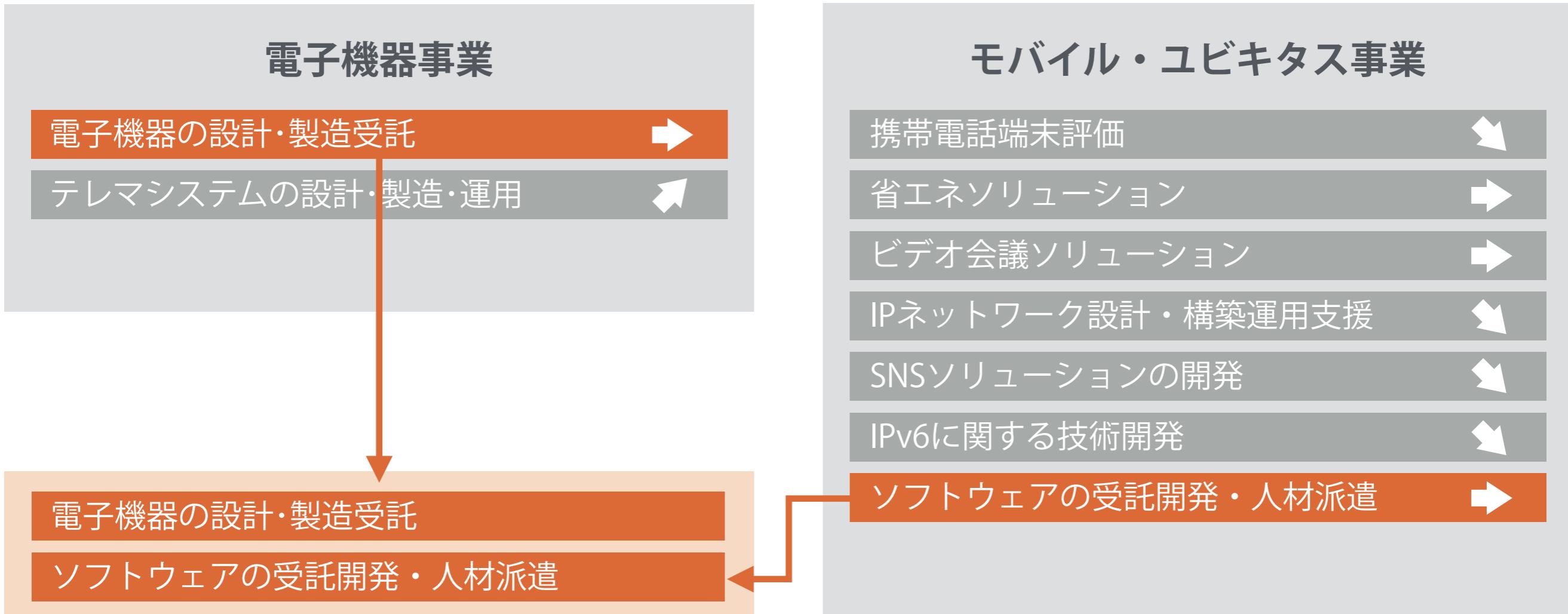
様々な分野への応用が可能な
ソリューションを開発

事業再編



高成長分野でコア技術を生かせる事業を構築

事業再編



安定的な収益が見込める受託事業

事業再編

IoTソリューション事業

IoTコンサルティング

IoTシステム開発

IoTシステム運用

IoTデバイスの設計・製造

高成長分野

設計・製造受託事業

電子機器の設計・製造受託

ソフトウェアの開発受託・人材派遣

安定収益分野

**成長性・安定性の違いで分類することで
リスクを効果的にコントロール**

事業戦略

IoTソリューション事業

実績のある技術をベースに
積極投資により事業を拡大

競争力のある製品開発

- ・マーケティング強化
- ・研究開発投資、M&A等による技術力強化

オリックスグループとの連携

- ・オリックスの営業網を活用した顧客開拓

設計・製造受託事業

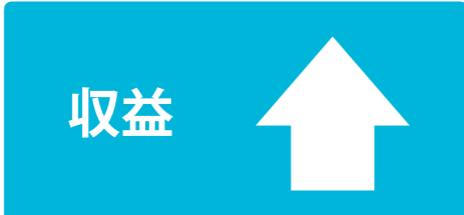
営業強化と業務効率化で
収益を安定化

既存顧客との関係強化

- ・自社営業力の強化

オペレーション効率の向上

- ・標準化、システム化等による効率化



ユビテックについて

2015年度第2四半期決算について

中期経営計画（2015～2017年度）

IoTソリューション事業 事業戦略

テレマティクスシステム



型式対応数 **1,100** 種以上

稼働台数 **110,000** 台以上

※2016年2月現在

テレマティクスシステム



リース車両向け運行動態管理システム
シェア

No.1

矢野経済研究所「2014~15年度版 商用車向けコネクテッドカー／テレマティクス市場予測」

テレマティクスシステム

業界を牽引している
強みを最大限に活用

事業者向けテレマティクスプラットフォーム

テレマティクスアプリ

事業者のニーズに合わせて
カスタマイズ

テレマティクスAPI

車載機から取得したデータを
容易に使用するための仕組み

テレマティクス車載機

小型で取付けが容易な
新型車載機



事業者がテレマティクスサービスを
構築するためのプラットフォームを提供

技術力と商品力の強化

ユビキタス技術

システム運用技術

システム開発技術

ゲートウェイ技術

センシング技術

量産技術

コア技術を生かした
商品開発

コア技術を生かした商品開発

UBITEQ IoTプラットフォーム

- 実績に裏付けられた技術をもとに新たに開発
- 様々な分野で応用可能な拡張性を持った共通基盤
- ユーザーやサードパーティによるアプリケーション開発が容易な設計

テレマティクスプラットフォーム

- テレマティクス事業者向けの技術支援プラットフォーム
- UBIQE IoTプラットフォーム上に構築
- 取付が容易な新型車載機の採用
- 他システムと連携可能なAPIをサポート



2016年度前半での販売開始を予定

IoTソリューション事業 拡大戦略

既存の事業領域

事業領域	テレマティクス
システム技術	テレマシステム
コア技術	
ゲートウェイ技術	車載ゲートウェイ
センシング技術	位置、加速度

IoTソリューション事業 拡大戦略

既存の事業領域	
事業領域	テレマティクス
システム技術	テレマシステム
コア技術	ゲートウェイ技術 車載ゲートウェイ
	センシング技術 位置、加速度

テレマティクス事業を軸に
IoTソリューション事業を展開

IoTソリューション事業 拡大戦略

既存の事業領域

事業領域	テレマティクス	IoTプラットフォーム
コア技術	システム技術	
	ゲートウェイ技術	車載ゲートウェイ
	センシング技術	位置、加速度

異なる領域に展開可能な共通基盤を構築、
あらゆる経営資源を投入し技術力・商品力を強化

IoTソリューション事業 拡大戦略

既存の事業領域		拡大可能な領域の例				
事業領域	テレマティクス	介護	工場	農業	...	
システム技術	IoTプラットフォーム					
ゲートウェイ技術	車載ゲートウェイ	介護ゲートウェイ	工場ゲートウェイ	農業ゲートウェイ	...	
センシング技術	位置、加速度	健康状態、位置	稼働状況	温度、湿度	...	

オリックスグループ連携、
パートナーとのアライアンスにより
領域と規模を拡大

IoTソリューション事業 拡大戦略

FY2015

テレマティクスの外販

マーケティング強化
商品力向上

FY2016

隣接分野への展開

マーケティング強化
商品力向上
他社とのアライアンス

FY2017

データ分析サービスの強化

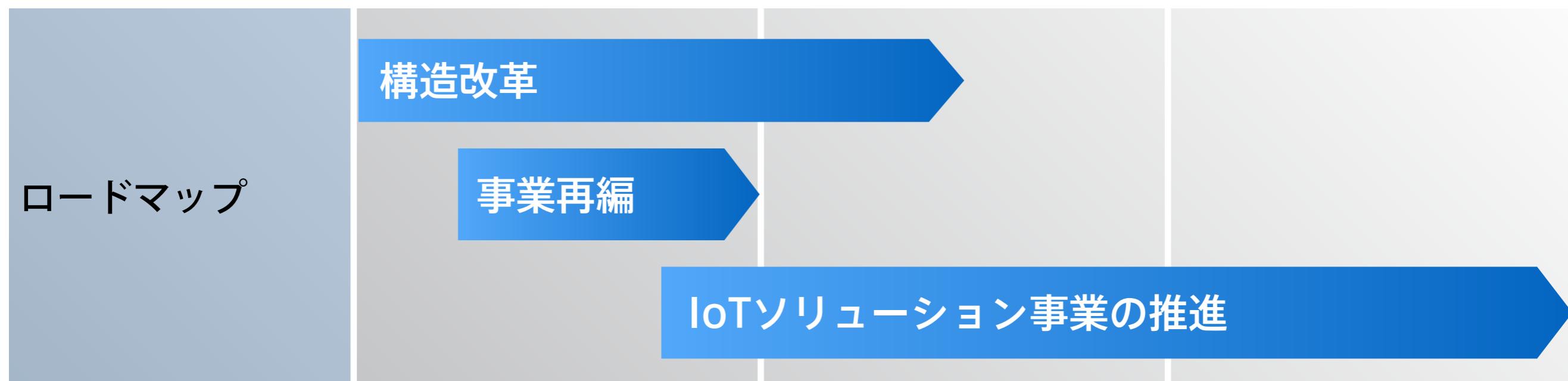
分析データの販売
海外市場の開拓
パートナーの拡大



テレマティクスをベースに
事業領域と技術領域を拡大

経営目標値

	FY2015 (2016年6月期)	FY2016 (2017年6月期)	FY2017 (2018年6月期)
売上高 (百万円)	2,650	2,900	3,200
営業利益 (百万円)	△60	△35	200
経常利益 (百万円)	△60	△35	200
当期純利益 (百万円)	△230	△35	140
営業利益率	—	—	6.3%



本資料に関する注意事項

記載している情報のうち、業界の動向や分析、当社の計画・見通し・戦略等につきましては、将来的の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となる可能性がございますことをご了承下さい。

なお本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではございません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。